

市民公園の自然生態系を活用した、 体験型環境教育モデルの構築 (ESD化)

活動地域  日本全域

つづける助成

3年目

知識の提供・普及啓発

プログラム参加者数 **630人**

環境意識に変化があった参加者 **611人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **95%**



神奈川県藤沢市でのプログラムの様子

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

プログラムの内容や効果が文字列では表現しづらいため、PRが難しく、開催場所の選定に苦労した。また選定終了後も、現地との事務連絡や集客に苦労した。

■ 工夫した点

プログラム紹介事例として、活動の写真や、現地の声(アンケート)を紹介した。「プログラム導入マニュアル」「プログラム紹介動画」というアウトプットに繋がった。

課題

全国の都市公園の数は105,744か所にも及ぶが、効果的な環境教育の場として活用されていない。

目標

持続可能な社会に向け、環境保全の重要性に対する住民認識が50%以上増加する。
また、公園の自然を活用した環境教育を、助成金に頼らず継続的に行う仕組みが確立する。

活動内容と成果

公園内に設置した460mの距離を歩くことで46億年の地球の歴史を学び、生き物や自然がどのように地球上に現れ、循環型環境を作り出し、最後の最後に登場した人間が起こしている環境問題がどのように影響し、今後どうなるのかを、体感的に学ぶことができるプログラムを行う。
また、公園特有の自然生態系や地域の歴史をプログラムに織り交ぜて学習効果を高めた。
今年度は全国10か所で開催し、630人の参加者が体験した。アンケート結果では611人(97%)から「体験後、環境意識が変わった」という回答を得られた。



兵庫県明石市では明石城を効果的に活用

全助成期間の活動を振り返って

460mの距離を歩くことで46億年の地球の歴史を学ぶというアイデアを、「市民公園でどこでも行える体験型プログラム」として完成できたことは大きな成果と考える。
97%の参加者から「プログラム体験を通して環境意識が向上した」という評価をいただいたので、今後も全国の市民公園に環境教育を実施していきたい。
また、「1mの地球バルーン」も開発することができた。環境教育の1ツールとして活用・広めていきたい。



1mの地球バルーンも開発し教育効果が向上

〒076-0017
北海道富良野市下御料
電話：0167-22-4019
E-mail：shizenjuku@furano.ne.jp
HP：http://furano-shizenjuku.com/



今後の
展望

すでにプログラムを実施した地域においては継続開催を働きかけ、また、「プログラム導入マニュアル」「プログラム紹介動画」を活用して、新規実施にも力を入れていきたい。SDGsの取組みに賛同し、今後は、環境に対する「意識」の向上だけでなく、実際の「行動」に移すためのきっかけづくりとして、本プログラムを活用できるように改良していきたい。